

# 放課後等ディサービス評価表(事業所向け)まとめ H30・11・6

H30年10月実施

30年度 学童職員担当職員

## ■ 環境体制整備

項目	はい	どちらとも	いいえ	無記入
① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	0	0
② 職員の配置数は適切であるか	8	0	0	0
③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	0	0	0

### 《改善目標・工夫している点等》

- ・利用人数に合わせて調整しています。人数だけでなく利用するお子さんによって個別に対応できるようにしています。
- ・子ども達が身体を動かしてあそべたりできるように空間の利用やプレイルームの活用をしています。

## ■ 業務改善

項目	はい	どちらとも	いいえ	無記入
④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	2	0	0
⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	0
⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	2	0	0
⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	4	0	0
⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	0

### 《改善目標・工夫している点等》

- ・ホームページやたよりはありますが、連絡ボードを作り情報を伝えたり、サマースクールでは活動の様子を写真にしておつたえしました。
- ・放デイ研修、または学童期における事例検討や情報誌を読み定期的に研修を行なっています。資質向上に努めています。

■ 適切な支援の提供

項目	はい	どちらとも	いいえ	無記入
⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	0
⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2	0	0
⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	0
⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	0
⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	0	0	0
⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	0
⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	0
⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	0	0
⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	0
⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	0
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	0

《改善目標・工夫している点等》

- ・職員間で利用者のニーズに応えられるように打ち合わせや振り返りをしています。
- ・学童期に必要な力をつけるプログラムを組めるように研修に参加をしたり、打ち合わせをしています。
- ・個々の振り返りを行い、次回に活かせる工夫をしています。
- ・保護者から伝えられたことはその日の振り返りで職員間で情報共有し記入するよう努めています。

■ 関係機関や保護者との連携

項目	はい	どちらとも	いいえ	無記入
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	0

⑳ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	4	0	0
㉑ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	0	対象児なし
㉒ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	4	0	0
㉓ 学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	0	0	対象児なし
㉔ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	0	0	0
㉕ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	8	0
㉖ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	8	0	0	0
㉗ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	0
㉘ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	4	4	0

### 《改善目標・工夫している点等》

- 送迎を行っていないため親御さんと直接お話し出来る機会が多いので送迎どちらかに必ず声をかけ活動の様子を伝えたり、学校や家庭での様子を聞いています。
- 北区ネットワーク会議や放課後等連絡会の研修や会議に参加をしています。得た情報(研修内容)について職員間で周知をしています。
- 学校の運動会に行ける時、参加するようにしています（しかし利用される小学校が多い為全部は行けていません）。その他、母親を通じて学童ねあらいの取り組みや支援計画を学校の先生に渡してもらい電話などで情報交換をしました。（利用している学校数が28と多いためどこも平等にと言うと難しいです）。
- 体調面は必ず引き受け時に確認をとる（健康チェック表記入）。場合によっては、通院を促すことがありました（咳がひどく出ていたのを連れて児もだるそうだったので通院をお願いしたケースが1件ありました）。
- 学校に上がる前の引き継ぎ書（かけはしシート）に目を通し療育にあたり引継ぎは大切にしています。
- 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行するような対象は現在いません。小学校6年生までの利用で実施しており今年度1名終了となりました。学童を利用していた曜日を他の事業所で引き継いでもらえたことを確認して終了としました。

## ■ 保護者への説明責任等

項目	はい	どちらとも	いいえ	無記入
③⑩ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	0
③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	0
③⑫ 父母の会の活動を支援したり、反故者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	0	0	0
③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	0
③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	0	2	6	0
③⑮ 個人情報に十分注意しているか	8	0	0	0
③⑯ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	0
③⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	8	0

### 《改善目標・工夫している点等》

- ・排泄・生活面について、アドバイスを求められる場合もあります。上司とも相談し、解決に努めています。
- ・お話し会をするなかで子どもの育ち（気持ちの育ち、経験させたい事）等、親御さんに情報提供しています。利用される学年が違うため母親の感じた視点での意見交流ができるお話し会の時間も月1回取っています。
- ・月末に月、火、水曜日と3日間のお話し会を行っています。横のつながりができ、保護者からも満足度が高いです。
- ・サマースクールの際には、様子が分かるよう写真を掲示しました。子ども達の様子が分かり易いと好評でした。
- ・利用者アンケートを提出していただく際は、ボックスを用意しました。日々の利用の中でも親御さんに意見を拾い返していくようにしています。

## ■ 非常時等の対応

項目	はい	どちらとも	いいえ	無記入
③⑱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	0	0	0
③⑲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他、必要な訓練を行っているか	8	0	0	0
④⑰ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	0

④① どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後デイサービス計画に記載しているか	0	8	0	0
④② 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	0	0
④③ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	0

《改善点・工夫している点等》

- ・毎月1回、定期的に避難訓練を行っています。その際の子ども達の様子も保護者に口頭ですが伝えていきます。
- ・対応マニュアルはありませんが、(子ども同士のトラブル等) その状況対応を親御さんへ伝えていきます。また、職員間で共有し、必要な時は役割分担を行っています。
- ・おやつには、アレルギーが含まれるものは提供しないようにしています。毎年新年度のガイダンスで確認をしています。

学童ねらい 京極

## □ 今後の改善策として

- 重要事項で説明しても 1 回だけでは伝わりにくい（親御さんには理解しにくい）内容もあるのでその都度説明をしていく事が大切であることを感じた。また口頭だけでなく文章（目で分かる形で）伝えて行く。
- ⇒
  - 親御さんへの情報は口頭だけでなく紙面でも伝えていく。伝言ボードを作る。
  - 聞いた、聞いてないにならないように伝えたら（掲示も見てもらったら）名簿にチェックをして頂き伝え忘れがないようにする。
  
- 避難訓練は毎月実施しているが予定に書いていなかったため親御さんに実施していることを知らない方がいた。
- ⇒
  - 利用予定表に明記していく。
  - 避難訓練を実施した際の気づきを伝言ボードで伝えて行く。
  - 防災のマニュアル等一式、利用の際に見ていただけるよう提示をした。
  
- 親の会は実施していないが帰りに輪になってのお話会はしている。
- ⇒
  - 今後半年に 1 回は機関誌の発行をしていく。
  
- 児童会等の交流は今年は夏休み『絵画教室』として放課後等ディ対象の子だけで行ったが今後は、地域の公民館などを利用し地域の小学生と一緒に買いが教室を行っていくことを計画している。